

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	公共交通を基軸としたまちづくり（第2期）										
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）					交付対象		熊本市			
計画の目標											
本市においてはこれまでの拡張型都市構造から地域拠点を中心とした集約型都市構造への転換を図っていくこととしている。 そのために公共交通の利用促進による人と環境に優しい交通の実現や、安全で快適なまちづくりによる地区の活性化を目指し、公共交通や駅等の周辺整備、拠点駅に連絡する幹線道路整備等を行うことで、地域生活圏が相互に連携した多核連携型の都市構造を目指すこととしている。 このような都市構造の実現に向け、誰もが安全で快適に移動できる公共交通体系の確率や都市機能の維持・確保を推進し、長期的な都市活力や魅力の維持を図る。											
計画の成果目標（定量的指標）											
- 公共交通利用者数の増加 - 市電利用者の増加 - 居住誘導区域内の人口密度の維持 - 交通結節点における駐輪場利用台数の増加 - 熊本市域における交通事故死傷者数の減少											
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考		
① 熊本都市圏における公共交通（鉄道、軌道、バス）利用者数を測定する ② 熊本市電の利用者数を測定する ③ 居住誘導区域内の人口密度を測定する ④ 交通結節点における駐輪場利用台数を測定する ⑤ 年間交通事故死傷者数を調査する						当初現況値	中間目標値	最終目標値			
						(H29当初)	(R3末)	(R5末)			
						53,088千人/年	55,356千人/年	56,283千人/年			
						11,094千人/年	11,301千円/年	11,401千人/年			
						61人/ha	61人/ha	61人/ha			
4,942台/日	5,590台/日	5,620台/日									
3,484人/年	3,300人/年	3,200人/年									
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,690百万円	A	2,688百万円	B	0百万円	C	2百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.0007%	
事後評価											
○事後評価の実施体制、実施時期											
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期					
熊本市公共事業評価監視委員会による審議						令和6年7月					
						公表の方法					
						熊本市ホームページに掲載					

1. 交付対象事業の進捗状況																		
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H31	R02	R03	R04	R05			
A13-001	都市交通	一般	熊本市	直接	熊本市			熊本市一円地区都市交通システム整備事業	自転車駐輪場整備	熊本市	■	■	■	■	■	61		
A13-002	都市交通	一般	熊本市	直接	熊本市			市電沿線地区都市交通システム整備事業	電停改良（バリアフリー化）、 軌道敷緑化、電停上屋設置	熊本市	■	■	■	■	■	1,392		
A13-003	都市交通	一般	熊本市	直接	熊本市			市電延伸地区都市交通システム整備事業	市電（路面電車）延伸 L＝約 1.5km	熊本市					■	0		
A13-004	都市交通	一般	熊本市	直接	熊本市			植木駅周辺都市交通システム整備事業	植木駅周辺整備（ロータリー 等）：約960m2等	熊本市	■	■				105		
A13-005	都市交通	一般	熊本市	直接	熊本市			中心市街地地区都市交通システム整備事業	駐車場整備計画作成等	熊本市	■	■	■	■	■	31		
A01-006	街路	一般	熊本市	直接	熊本市			(都) 水前寺秋津線ほか2線	現道拡幅 L＝約1.5km	熊本市					■	0		
A10-007	都市再生	一般	熊本市	直接	熊本市			上熊本地区都市再生整備計画	道路（(都)花園池亀線外、 (都)上熊本駅西口線）	熊本市	■	■	■	■		1,099		
合計																2,688		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者			要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
																合計		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	
C 効果促進事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者			要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
C13-001	都市交通	一般	熊本市	直接	熊本市			交通ルール・マナーアップ促進事業	自転車交通安全啓発教育	熊本市	■	■	■	■	■	2		
																合計	2	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	
C13-001	熊本市一円地区都市交通システム整備事業と一体的に事業を行うことにより、自転車安全利用促進を図る																	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況					
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値	56,283千人/年	目標値と実績値 に差が出た要因	新型コロナウイルス感染拡大による影響で生活様式が変容したことから、公共交通の利用が減少したことに起因する。令和2年度の熊本都市圏における公共交通利用者は前年度比で約32%減少しており、令和3年度以降は復調している状況。
		最終実績値	50,946千人/年		
	指標②	最終目標値	11,401千人/年	目標値と実績値 に差が出た要因	熊本市電の利用者数についても同様に新型コロナウイルスの感染拡大に伴う利用者数の減少の影響を受け最終目標値に達していない状況となっている。令和2年の全国緊急事態宣言が発令した期間の一部週にあっては、前年度の4分の1程度の乗車人員となっていた状況もあったが、年間利用者数は令和2年度を底に増加傾向にある。
		最終実績値	10,088千人/年		
	指標③	最終目標値	61人/ha	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	62人/ha		
	指標④	最終目標値	5,620台/日	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	5,789台/日		
	指標⑤	最終目標値	3,200人/年	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	2,063人/年		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
・ 令和6年度より実施中の「公共交通を基軸としたまちづくり（第3期）」に沿って、引き続き公共交通の整備に係る取組を推進していく。					